



日本共産党千代田地区委員会 くらし・雇用相談室長  
日本共産党千代田区議団 事務局長

# こんにちは 牛尾こうじろう です

耕二郎 2011年5月29日 第33号

ホームページ：「日本共産党牛尾こうじろう」で検索 住所：千代田区岩本町1-12-12-301 : 090-2406-7991  
Eメール：k-ushio@beetle.ocn.ne.jp 事務所：千代田区神田東松下町33 : 3251-2952

## 子どもたちも高齢者も安心できる千代田区へ全力をあげます

四月二十四日投・開票でおこなわれた千代田区議会議員選挙で私は四〇〇票を獲得しました。残念ながら議席へは届きませんでした。ご協力いただいたみなさんに心より感謝を申し上げます。また、党として議席を3から2へ減らしたことにお詫びを申し上げます。

私は、選挙戦で「震災から住民の命やくらしをまもるまちづくり」「震災に備え日常から福祉の基盤を整備すること」を公約に掲げ、家具転倒防止器具の助成の拡充、ビルや木造住宅の耐震診断・改修助成の拡充、特養ホーム、認可保育所の増設などを訴えました。

今後、公約の実現へみなさんと力を合わせ、誰もが安心の千代田区をつくるため全力をつくします。引き続きご支援、ご協力をよろしくお願ひします。



東日本大震災救援募金も再開しました

### 日本共産党候補者の得票数と順位

候補者	得票数	順位
飯島和子	523	19
木村正明	515	21
牛尾こうじろう	400	28

牛尾こうじろうの  
これが言いたい!



震災を口実に社会保障を削るなんていま医療や介護、生活保護などの社会保障の改悪が狙われています。厚労省が十二日に社会保障「改革」案を示しましたがこれまでの自民党政権が進めてきた社会保障切り捨てを強めるものです。医療・介護では給付の縮小、患者、利用者の負担増、生活保護では削減の方向を打ち出しています。しかも、厚労省は東日本大震災が社会保障制度へ影響を及ぼすと震災も口実にしています。とんでもない。歴代政府が介護、医療、住宅など住民の命とくらしを守る社会保障の基盤を壊してきたことが被害を上げた一因ではないでしょうか。社会保障の削減は被災地の方も影響を受けます。それを震災口実に社会保障を削るなど許されません。震災で被災地は元より全国が大変な状態だからこそ憲法二十五条の精神で国が国民の命を守るために社会保障を充実することこそが必要です。

# 今こそ「原発頼み」から自然エネルギーへの踏み出すとき

福島第一原子力発電所の事故は原発から遠く離れた神奈川のお茶にまで放射能が検出され、国民の不安は

広がるばかりです。同時にこの事故は地震が多発する日本での原発の是非を問うものになっています。今、各地で原発からの撤退を求める行動が広がっています。私は、十九日に吉井英勝衆院議員を講師に開かれた「原発問題を考える」講演

会に参加し、日本での自然エネルギー活用の可能性があることを知りました。「原発は危険かもしれないがなくなることなどできるのか」との意見もあります。確かに日本の電力の三分の一は原発によるものです。しかし、日本でもドイツのように自然エネルギーを電力生産の主要な分野にすることは可能です。講演会では東京の全ての

公共施設の屋上に太陽光パネルを設置すれば柏崎・刈羽原発に匹敵する発電量を得られること。東北や四国の自治体では風力や木材ペレット、家畜の糞尿からメタンをつくり発電するなどして電気エネルギーの自給自足をおこなっていることなどが報告されました。国がこうしたとりくみを支援するならば自然エネルギー活用の可能性が大きく広がると思います。

## 「東日本大震災救援を」第82回メーデーに参加しました



メーデー会場で

五月一日、代々木公園で開催された八十二回目のメーデーに参加してきました。「働くものの団結で大震災からの復興を」と熱気あふれる労働者の祭典でした。

原発は、事故が起きなくても大量の放射性廃棄物を生みだします。事故が起きれば将来にわたり影響が残ります。日本でも原発頼みから自然エネルギーへの活用に踏み出す時ではないでしょうか。日本共産党は「原発からの撤退を求める」署名をおこなっています。ぜひ、ご協力ください。

## 高齢者総合サポートセンターは区民の意見を十分聞いて

「旧区役所庁舎跡地の活用についての説明会」がこの間、区出張所地域ごとにおこなわれています。

区は庁舎跡地に「高齢者総合サポートセンター」を新設し九段坂病院を跡地に移転・併設。医療・介護などの機関と連携して在宅介護を支援する計画ですが様々な意見が出されています。

区民にとってより良い施設にいくためには、より多くの区民の意見を反映させることが必要ではないでしょうか。



区役所旧庁舎